



ヘルスコミュニケーションウィーク2026 in Itabashi, Tokyo

Health Communication Week 2026 in Itabashi, Tokyo

開催趣意書

(Version 1.4)

HCW2026 Sponsorship Proposal
July 31, 2026

<協賛募集要項>

- 第18回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会
- 第6回 日本ヘルスリテラシー学会学術集会
- 第6回 日本メディカルコミュニケーション学会学術集会
- 第5回 日本医療通訳学会学術集会
- 第5回 日本ヘルスマーケティング学会学術集会
- 第5回 日本医学サイエンスコミュニケーション学会学術集会
- 第5回 日本医療コミュニケーション学会学術集会
- 第3回 日本看護コミュニケーション学会学術集会
- 第3回 日本歯科コミュニケーション学会学術集会

会 期：2026 年 10月3日(土)・4日(日)

会 場：大東文化大学東京板橋キャンパス(東京都板橋区高島平1-9-1)

主 催：ヘルスコミュニケーション学関連学会機構

総大会長 杉森 裕樹

(大東文化大学スポーツ・健康科学部 学部長/同スポーツ・健康科学研究科 教授)

U R L : <https://healthcommunication.jp/hcw2026/>

<大会事務局>

大東文化大学スポーツ・健康科学部 東松山キャンパス2-r310 (杉森裕樹研究室内)

〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560

Email: hcw2026ml@ic.daito.ac.jp

目次

ご挨拶.....	1
開催概要.....	2
大会収支予算書.....	3
協賛広告と企業展示.....	4
1. 協賛の種類・金額・募集期間一覧.....	4
2. 協賛広告募集要項.....	5
3. 企業展示募集要項.....	6
4. ランチョンセミナー募集要項.....	8
5. 寄付金募集要項.....	10
日程・プログラム.....	11
学会組織概要.....	15



ご挨拶

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび「ヘルスコミュニケーションウィーク 2026」を 2026 年 10 月 3 日(土)・4 日(日)の両日、大東文化大学東京板橋キャンパスにおいて開催する運びとなりました。

ヘルスコミュニケーション学関連学会機構(Health Communication Week Organization)のもとには、日本ヘルスコミュニケーション学会、日本ヘルスリテラシー学会、日本メディカルコミュニケーション学会、日本医療通訳学会、日本ヘルスマーケティング学会、日本医療コミュニケーション学会、日本医学サイエンスコミュニケーション学会、日本看護コミュニケーション学会、日本歯科コミュニケーション学会の 9 学会が参画しており、ヘルスコミュニケーションに関する我が国最大規模の学術連携組織として活動しております。これら 9 学会が一堂に会し、学術交流と社会発信を行う場が「ヘルスコミュニケーションウィーク 2026」です。

今大会の統一テーマは「AI 時代のヘルスコミュニケーション」といたしました。人工知能(AI)の急速な発展は、医療・保健・福祉の現場に大きな変革をもたらしつつあります。一方で、その恩恵を社会全体で共有するためには、専門職と市民、患者と医療者、多職種間、さらには人と AI との適切なコミュニケーションのあり方を探究することが重要です。本大会では、AI 時代におけるヘルスコミュニケーションの新たな可能性と課題について、多角的な視点から議論を深めてまいります。

大会期間中は、基調講演、シンポジウム、教育講演、一般演題発表等を予定しており、保健・医療・福祉のみならず、語学などの教育、行政、産業界など幅広い分野の皆様にご参加いただける内容を企画しております。また、オンサイト開催を中心としながら、一部プログラムについてはオンデマンド配信も予定しております。現在、実行委員会一同、本大会が実り多い学術交流の場となるよう鋭意準備を進めております。

つきましては、本大会の趣旨にご賛同いただき、格別のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。末筆ながら、貴社・貴機関のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2026 年 6 月吉日

ヘルスコミュニケーションウィーク 2026
総大会長 杉森 裕樹



開催概要

1. 学会名称

ヘルスコミュニケーションウィーク 2026 in Itabashi, Tokyo
第18回 日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会
第6回 日本ヘルスリテラシー学会学術集会
第6回 日本メディカルコミュニケーション学会学術集会
第5回 日本医療通訳学会学術集会
第5回 日本ヘルスマーケティング学会学術集会
第5回 日本医学サイエンスコミュニケーション学会学術集会
第5回 日本医療コミュニケーション学会学術集会
第3回 日本看護コミュニケーション学会学術集会
第3回 日本歯科コミュニケーション学会学術集会

2. テーマ

AI時代のヘルスコミュニケーション

3. 会期

学術大会 10月3日(土)～4日(日)
オンデマンド配信 11月1日(日)～12月1日(火) (会期後に一部のオンデマンド配信を予定)

4. 会場

大東文化大学 東京板橋キャンパス
〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1 都営三田線 西台駅西口下車 徒歩9分

5. 総大会長

杉森裕樹(大東文化大学スポーツ・健康科学部 学部長/同スポーツ・健康科学研究科 教授)

6. 実行委員長

水野千奈津(大東文化大学スポーツ・健康科学研究科 教授)

7. 参加予定者数

310名

8. プログラム

基調講演、各分科会シンポジウム、教育講演、一般演題(口演・ポスター)

9. 大会事務局

大東文化大学スポーツ・健康科学部 東松山キャンパス2-r310 (杉森裕樹研究室内)
〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560
Email: hcw2026ml@ic.daito.ac.jp

大会収支予算書

【収入の部】

収入項目	予算額	備考
学会参加費	2,575,000円	参加費 会員一般： 8,000 円× 145名=1,160,000円 非会員一般：11,000 円× 110名=1,210,000円 会員学生： 3,000円 × 35名=105,000円 非会員学生： 5,000 円× 20名=100,000円
協賛金	820,000 円	A. 抄録集とバナー広告 50,000円 × 4社=200,000円 B. バナー広告 30,000円×4社=120,000円 C. 企業展示 60,000円 × 4社=240,000円 D. ランチョンセミナー 30,000×2社~4社=60,000円~120,000円 E. 寄付金等100,000円×2社=200,000円(任意)
学会準備助成金	300,000 円	ヘルスコミュニケーション学関連学会機構
大東文化大学助成金	400,000円	学校法人大東文化学園
合 計	4,095,000円	

【支出の部】

支出項目	予算額	備考
運営委託費	1,300,000 円	IT 関連費用/名簿管理費用、オンデマンド配信一式等
シンポジスト謝金	300,000 円	20,000 円×15 名
シンポジスト交通費	450,000 円	30,000 円×15 名
当日アルバイト代	600,000 円	20,000 円×15 名×2 日
当日スタッフ人件費	400,000 円	50,000 円×4 名×2 日
スタッフ弁当代	90,000 円	1,500 円× 30 名× 2 日
スタッフ参加者飲料	20,000 円	200 円×100 名
抄録集とバナー広告費	200,000 円	
ホームページバナー作成費	120,000 円	
消耗品費	100,000 円	封筒/名札/その他
郵送費	100,000 円	ポスター、委嘱状、賞状等郵送
学会準備助成金返金	300,000 円	ヘルスコミュニケーション学関連学会機構
予備費	115,000円	事務経費、運営予備費
合 計	4,095,000円	

協賛広告と企業展示

I. 協賛の種類・金額・募集期間一覧

協賛広告

種類	名称	概要	金額	募集締切目安
A	抄録集広告 及びバナー広告	抄録集（PDF ページカラー広告） ホームページバナー広告（トップページ）	5万円	2026年 8月31日（月）
B	バナー広告のみ	ホームページバナー広告（トップページ）	3万円	2026年 8月31日（月）

企業展示

種類	名称	概要	金額	募集締切目安
C	企業展示	各企業様の商品の紹介、説明、及び販売	6万円	2026年 8月31日（月）

ランチョンセミナー

種類	名称	概要	金額	募集締切目安
D	ランチョンセミナー	各企業様の商品の紹介、説明、及び昼食 「*昼食およびお茶代別途」	3万円	2026年 8月31日（月）

寄付金

種類	名称	概要	金額	募集締切目安
E	寄付	各企業様からの寄付金等	任意	2026年 8月31日（月）

※日本製薬工業協会および日本医療機器産業連合会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「共通セミナー会社と医療機関および医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、共催企業が本大会に係る協賛費用を「学会名」「大会名」「セミナー名」等とともに、各社のウェブサイト上で公開することに同意します。

2. 協賛広告募集要項

1) 抄録集(pdf) 広告

版型：A4 版 PDF 配信

発行予定日：2026年10月3日(土)

配布対象：参加者310名

資料の形式：

- ・原稿サイズは、A4 版縦置き原稿にてご用意ください。
- ・Illustratorファイル(アウトラインフォント済)または、PDFファイル(フォント埋め込み)としてください。
- ・仕上がり見本を必ずPDFに添付してください。

資料の送付期限：2026年9月7日(月)までに事務局にお送りください。電子メール添付は、5MBまで受信可能です。それ以上は、ギガファイル便やオンラインストレージサービスでご送付ください。

2) ホームページバナー広告

大会ホームページのトップページにバナーを掲載いたします。

バナー用ロゴの形式：幅 300×高さ 100 ピクセルで、PNG、JPG、GIF のいずれかの形式

資料の送付期限：上記バナー用の企業ロゴと、そのリンク先 URLをお申し込み後速やかにメールでご提供ください。入金が確認され次第、バナー広告の掲載を開始いたします。

3) 協賛広告の申し込み方法

電子メール(hcw2026ml@ic.daito.ac.jp)で、以下の情報をお送りください。

- ① メールタイトルを「協賛広告の希望」としてください。
- ② 希望する協賛方法(4ページ内の表A、B)の種類を明記してください。
- ③ 貴社・団体名
- ④ 書類送付先住所
- ⑤ ご担当者名とご所属部署
- ⑥ ご連絡先の電話番号、電子メール
- ⑦ その他のご連絡(広告の概要は、こちらにご記載ください)

お申し込み後に、請求書を発行いたしますので、請求書にもとづき協賛広告費を下記の振込先へお支払いください。振込手数料はご負担願います。

振込先

銀行名：みずほ銀行(銀行コード 0001) 本郷支店(店番075)

種 目：普通預金

口座番号：4247061

口座名義：ヘルスコミュニケーションウィーク

3. 企業展示募集要項

1) 目的と出展対象

会場内展示会場における各企業様の事業・商品のご紹介・説明・販売等、本学会の開催趣旨に適う内容を出展対象とさせていただきます。

2) 日時

搬入・設営:	10月2日(金)	15:00	~18:00	(要相談)
展示時間:	10月3日(土)	9:00	~18:00	
	10月4日(日)	9:00	~16:30	
撤去時間:	10月4日(日)	16:30	~17:30	

3) 展示会場

大東文化大学 東京板橋キャンパス (会場: ポスターセッション及び企業展示会場)

(1) 展示小間: 1小間(サイズ: 2m × 2m前後) 60,000 円

(2) 小間割り・出展要項:

出展締め切り後、出展物の種類や小間数等を考慮の上、小間の割り当てを行うとともに「展示実施要項」をお送りします。

机(150cm×45cm、または180cm×60cm)、椅子をご用意できますが、白布等をご用意ください。給排水設備はございません。設置機器で電力を使用する際は、お申し出ください。後ほどご案内します。床面への直接工作(アンカー等)は原則禁止します。

(3) 会場の管理:

会場および出展物の保全について、最善の保護と管理にあたりますが、天災、その不可抗力による事故、紛失および小間内における人的災害の発生については責任を負いません。

4) 展示ブースのお申込み方法

電子メール(hcw2026ml@ic.daito.ac.jp)で、以下の情報をお送りください。

- ① メールタイトルを「企業展示の希望」としてください。
- ② 貴社・団体名
- ③ 書類送付先住所
- ④ ご担当者名とご所属部署
- ⑤ ご連絡先の電話番号、電子メール
- ⑥ その他のご連絡

お申し込み後に、請求書を発行いたしますので、請求書にもとづき企業展示費を下記の振込先へお支払いください。振込手数料はご負担願います。

振込先

銀行名：みずほ銀行（銀行コード 0001）本郷支店（店番075）

種 目：普通預金

口座番号：4247061

口座名義：ヘルスコミュニケーションウィーク

5) キャンセル、その他

出展申込書の提出後は、事務局が不可抗力と認めた事項以外、取り消しはできません。

申し込みスペースの全て、または一部の転売、譲渡は行えません。

4. ランチョンセミナー募集要項

1) 目的と対象

会期中の昼食時間帯に、各企業様の事業・商品のご紹介・説明を行っていただくセミナーです。参加者へ昼食(弁当)を提供しながら、自社製品・サービス・研究等について講演いただく形式で、本学会の開催趣旨に適う内容を対象とさせていただきます。

2) 日時・会場

開催日:2026年10月3日(土)・4日(日) 昼食時間帯(各日1枠/12:00~13:00を予定)

会 場:大東文化大学 東京板橋キャンパス(講義室を予定)

＊ 1社あたり1枠(セミナー時間 約45~50分)

＊ 募集枠数 4枠(先着順)

※具体的な時間・教室は、お申し込み状況をふまえ後日「実施要項」にてご案内します。

3) 費用および募集締切

ランチョンセミナー:1枠 30,000円

募集締切目安:2026年8月31日(月)

4) 費用に含まれるもの

セミナー会場(講義室)およびプロジェクター・スクリーン・マイク等の基本設備の使用

大会プログラム・ホームページへのセミナー情報掲載

参加者への告知(会場アナウンス・掲示等)

※ 昼食(弁当+お茶)の手配・費用、講師の謝金・交通費は出展企業様のご負担となります。
弁当等の手配を事務局で代行希望の場合はご相談ください。

※ 概算案として以下をご参考ください。

例 30,000円(ランチョン枠費)+2,200円(お弁当+お茶)×80名=206,000円(お支払い代金)

・人数等、応相談いたします

5) 準備物・運営に関する留意事項

セミナーの企画・進行・登壇者の手配は出展企業様にてお願いいたします。

配布資料がある場合は、出展企業様にてご準備ください。

使用機材で特別な電力・接続環境が必要な場合は、お申し込み時にお申し出ください。

録画・配信(オンデマンド含む)を希望される場合は、事前に事務局へご相談ください。

6)お申し込み方法

電子メール(hcw2026ml@ic.daito.ac.jp)で、以下の情報をお送りください。

- ① メールタイトルを「ランチョンセミナーの希望」としてください。
- ② 貴社・団体名
- ③ 書類送付先住所
- ④ ご担当者名とご所属部署
- ⑤ ご連絡先の電話番号、電子メール
- ⑥ セミナーの概要(テーマ・登壇予定者・想定内容)
- ⑦ その他のご連絡

お申し込み後に請求書を発行いたしますので、請求書にもとづき下記の振込先へお支払いください。振込手数料はご負担願います。

振込先

銀行名:みずほ銀行(銀行コード 0001) 本郷支店(店番075)

種 目:普通預金

口座番号:4247061

口座名義:ヘルスコミュニケーションウィーク

7)キャンセル、その他

お申し込み後は、事務局が不可抗力と認めた事項以外、取り消しはできません。お申し込み枠の全部または一部の転売・譲渡は行えません。

5. 寄付金募集要項

1) 趣旨

本大会の運営は、参加費および企業協賛により支えられております。寄付金は、学术交流の充実と本大会の円滑な運営のため、上記の協賛(広告・企業展示・ランチョンセミナー)とは別に、各企業・団体様の任意のご厚志としてお寄せいただくものです。広告掲載や展示等の対価を伴うものではございません。本大会の趣旨にご賛同いただける場合に、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2) 寄付金額

1口 100,000円(複数口も歓迎いたします)

上記金額を目安としつつ、ご事情に応じた金額でも承ります。

金額はお申し込み時にご相談ください。

募集締切目安:2026年8月31日(月)

3) ご芳名の掲載

ご希望に応じて大会ホームページおよび大会プログラム等に、寄付者として貴社・団体名を掲載いたします。掲載を希望されない場合はお申し込み時にお知らせください。匿名でのご寄付も承ります。

4) お申し込み方法

電子メール(hcw2026ml@ic.daito.ac.jp)で、以下の情報をお送りください。

- ① メールタイトルを「寄付金のお申し込み」としてください。
- ② 貴社・団体名
- ③ 書類送付先住所
- ④ ご担当者名とご所属部署
- ⑤ ご連絡先の電話番号、電子メール
- ⑥ ご寄付の金額(口数)
- ⑦ ご芳名掲載の可否
- ⑧ その他のご連絡

お申し込み後に請求書(または納入のご案内)を発行いたしますので、それにもとづき下記の振込先へお支払いください。振込手数料はご負担願います。

振込先

銀行名:みずほ銀行(銀行コード 0001) 本郷支店(店番075)

種 目:普通預金

口座番号:4247061

口座名義:ヘルスコミュニケーションウィーク

5) 領収書・税務上のお取り扱い

ご入金確認後、領収書を発行いたします。税務上のお取り扱い(損金算入等)については、貴社の税務ご担当部署または所轄税務署へご確認ください。

日程・プログラム【大会1日目 2026年10月3日(土)】

基調講演

AI時代のヘルスコミュニケーション（中田 典生 東京慈恵会医科大学）

第18回 日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会 シンポジウム1

「多様化する社会におけるヘルスコミュニケーションの実践と展望」

ー 医療・地域・スポーツ・多文化社会をつなぐコミュニケーション ー

杉森 裕樹（大東文化大学）／水野千奈津（大東文化大学）

1. 外国人支援 問診票を母国語で（仮題）
（水野 隆・株式会社JALグランドサービス）
2. アプリによる多言語問診票の活用と医療DXの推進
（吉田奎輔・株式会社Payke 代表取締役CEO）
3. 在日外国人女性の産前産後子育てサポート（仮題）
（坪野谷知美・Mother's Tree Japan事務局長）
4. スポーツを通じたヘルスコミュニケーションと健康増進（仮題）
（平尾磨樹・大東文化大学 教授）
5. 臨床検査におけるヘルスコミュニケーション（仮題）
（宇城研悟・済生会松阪市民病院 医療技術部部长/日本臨床衛生検査技師会 理事）

第5回医学サイエンスコミュニケーション学会学術集会 シンポジウム

「プレスリリースから考える医学サイエンスコミュニケーション」

秋山 美紀（慶應義塾大学）／北澤 京子（京都薬科大学）

1. サイエンスコミュニケーターとして（仮題）
（飯田綱規・東北大学 特任准教授）
2. ジャーナリストとして（仮題）
（高野聡・毎日新聞社/医学誌MMJ <毎日メディカルジャーナル> 編集長）
3. 医学系研究をわかりやすく伝える（仮題）
（早川雅代・慶應義塾大学 特任研究員）

第6回日本メディカルコミュニケーション学会学術集会 シンポジウム

「医療の安心・安全を守るコミュニケーションとは（仮題）」

川上 ちひろ（岐阜大学）

1. 病院の医療安全に関して（仮題）
（中島 和江・大阪大学 教授）
2. 多職種連携に関して（仮題）
（春田 淳志・慶應義塾大学 教授）
3. 医療における組織のコミュニケーションと
Employee satisfaction・Customer satisfaction（仮題）
（榊原 圭子・東洋大学 教授）

第5回日本ヘルスマーケティング学会学術集会 シンポジウム

「職場を変える、働き方を変えるヘルスマーケティング?働く男女の更年期対策?」

榊原 圭子（東洋大学）

1. ツムラ #OneMoreChoice プロジェクト —従業員が隠れ我慢をしない取り組み—(仮)

（宮城 英子 株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション部

コミュニケーションデザイン課 課長

2. 経営層（役員・部長）向け男性更年期ケア・先行導入プログラム（仮）

（大村 寛敏 損害保険ジャパン株式会社 産業医/診療所長）

開催校企画（大東文化大学 外国語学部）

「痛みをめぐるもうひとつの声」

姫田麻利子（大東文化大学・教授/外国語学部 学部長）

1. 19世紀フランスのセラピー旅行について

（野澤 督・大東文化大学<フランス文学> 准教授）

2. 漢民族の断髪——心と体の苦難

（山内智恵美・大東文化大学<中国服飾史> 特任教授）

3. アスリート留学生の身体経験とコミュニケーション

（正宗鈴香・大東文化大学国際交流センター日本語教育 教授）

4. 移民第2世代のケアに関する複言語経験

（姫田麻利子・大東文化大学<社会言語学> 教授）

日程・プログラム【大会2日目 2026年10月4日(日)】

第18回 日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会 シンポジウム2

「医学系研究をわかりやすく伝えるプロジェクト」

山田 恵子（埼玉県立大学）／杉森 裕樹（大東文化大学）

1. 医学系研究とヘルスコミュニケーション
（菱山 豊・順天堂大学 特任教授）
2. 「医学系研究をわかりやすく伝えるための手引き」作成と効果検証
（井出博生・順天堂大学 准教授／東京大学 客員教授）
3. 手引きの改訂の半自動化とAIを活用した研究成果発信についての検討
（荒牧英治・奈良先端科学技術大学 教授）
4. 手引きを用いた全国ワークショップ」から見てきたこと
（早川雅代・慶應義塾大学 特任研究員）
5. 社会共創とヘルスコミュニケーション
（勝井恵子・AMED社会共創推進課 課長）

第5回日本医療コミュニケーション学会学術集会 シンポジウム

「異文化感受性理論と医療コミュニケーションの接点

ー外国人患者との対話をめぐってー」

大西弘高（東京大学）

1. 医療通訳とコミュニケーション
（飯田奈美子・関西外国語大学 准教授）
2. 移民への診療の改善
（弓野 綾・東京大学 特任助教）
3. 異文化感受性と医療コミュニケーション
（山本志都・東海大学 教授）

第6回 日本ヘルスリテラシー学会学術集会 シンポジウム

「組織のヘルスリテラシーの動向とその実践、可能性」

福田 洋（順天堂大学）

1. 国際学会における組織のヘルスリテラシーの話題
（福田 洋・順天堂大学 特任教授）
2. 組織のヘルスリテラシーの概念と測定
（石川ひろの・帝京大学 教授）
3. 職場における組織のヘルスリテラシー
（永田智久・産業医科大学 教授）
4. 学校における組織のヘルスリテラシー
（上地 勝・茨城大学 教授）

第3回日本歯科コミュニケーション学会学術集会 シンポジウム

「歯科情報の「デリバリー」を再考する

ー「伝える」コミュニケーションからの転換-」

内藤 真理子（広島大学）／三分一 恵里（明海大学）

1. 患者を中心とした多職種連携における「歯科情報の伝わりにくさ」

ー共に考える「歯科情報の翻訳術」

（松田真司・九州歯科大学 教授）

2. 「伝える」から「動きたくなる」へ ？

ソーシャルマーケティングで実現する行動変容デザイン

（瓜生原葉子・同志社大学 教授）

3. マウスウォッシュ使用の行動変容を促すコミュニケーション戦略

ー企業の実践からの示唆ー

（浅田友香・Kenvue シニアマネージャー）

第3回日本看護コミュニケーション学会学術集会 シンポジウム

「看護コミュニケーション学の発展に向けてー理論・評価・実践を通して考えるー」

山口 知香枝（金城学院大学）／杉本 なおみ（慶応義塾大学）

1. 「共感・傾聴・お作法」の先にある学び

：看護学部でコミュニケーション学の理論を教える試み

（杉本なおみ・慶応義塾大学 教授）

2. 「学びの成果」をいかに測るか：コミュニケーション教育学と

教学IRの交差点から迫る質保証の試み

（石橋嘉一・大阪大学 准教授）

3. コミュニケーション理論と個人的経験の接続点を創出する試み

：がん経験を教育に還元する実践

（五十嵐紀子・新潟福祉大学 教授）

第5回日本医療通訳学会学術集会 シンポジウム

「医療通訳者の活躍の場を考える ー医療通訳のしくみづくりの現状ー

吉富 志津代（武庫川女子大学）

1. 医療分野から行政へ

（松野勝民・NPO法人MICかながわ 理事長）

2. 市民団体から民間企業との連携

（山口まどか・多言語センターFACIL事務局長/医療通訳担当者）

3. 地方行政から民間企業委託

（杉本朋子・愛知県多文化共生推進室）

4. 個別の医療機関として院内で

（南谷かおり・りんくう病院）

学会組織概要

ヘルスコミュニケーション学関連学会機構（2026年5月現在）

Health Communication Week Organization

理事長

宮原 哲 西南学院大学 名誉教授

副理事長

秋山 美紀 慶應義塾大学環境情報学部 教授

石川 ひろの 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授

高山 智子 静岡社会健康医学大学院大学・社会健康医学研究科 教授

理事

阿部 恵子 金城学院大学看護学部 教授

河口 浩之 広島大学病院口腔総合診療科 教授

木内 貴弘 東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学 教授

杉本 なおみ 慶應義塾大学看護医療学部 教授

杉森 裕樹 大東文化大学スポーツ・健康科学研究科 教授

中山 健夫 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野 教授

総大会長 杉森 裕樹 大東文化大学スポーツ・健康科学研究科 教授

実行委員長 水野 千奈津 大東文化大学スポーツ・健康科学研究科 教授

副実行委員長 伊藤 直子 大東文化大学スポーツ・健康科学研究科 教授

副実行委員長 平尾 磨樹 大東文化大学スポーツ・健康科学研究科 教授

実行委員 北田 志郎 大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科 教授

只野 智昭 大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科 教授

村田 ひとみ 大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科 准教授

植松 明和 大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科 准教授

庄司 拓也 大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科 助教

小田嶋 剛 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

遠藤 勇祐 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院

－大会運営事務局－

大東文化大学スポーツ・健康科学部 東松山キャンパス2-r310（杉森裕樹研究室内）

〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560

Email:hcw2026ml@ic.daito.ac.jp